

2018年(H30年)

8月

No. 320

ひとはつとら



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムア°-ヅアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

「私の夏」

今年も、千葉県にある北総育成園から送られてきた千羽鶴を平和公園に奉納しました。園長である武井さんとは、もう三十数年も前になりますが、近藤原理さんが主宰するなすな合宿研究会で知り合いになったのが縁で、今もお付き合いさせていただいております。

私は胎内被爆者ですが、思春期まではほとんど原爆のことには関心がありませんでした。その私が、一人一人の命の尊さにめざめたという、気が付かされたのはまちがいなく知的な障がいのあるといわれる人たちとの出会いでした。おかげで自らの出自を振り返り、改めて、平和であることは全ての人権が保障されるためになくてはならない基盤だということを学ばされました。そう思うと、いま私たちの社会の置かれている状況は決して平和であるとは言えないのではないかと思います。それは、人為によって人の命が損なわれることが次から次へと起きている姿に現れています。

笠木透さんという歌手が「憲法があるから人権があるわけではありません。人権があるから憲法ができたのです。」と歌っています。肝に銘じたい詞です。

千羽鶴を奉納しながら、立っている地の下に自らの生を全うできなかった人たちの無念さがうごめいていると思うと、今私が何をしなければならぬのかと問われています。

「真綿で首を絞められる」とか「ぬるま湯で風邪をひく」とかの諺がありますが、「まさか」「まだまだ」と思っているうちに状況はどんどん抜き差しならぬようになっていきます。(理事長 寺尾文尚)

～お見舞い～

本号を発刊するための会議を進め最終稿を終えた段階で、広島県のみならず全国を覆う豪雨災害が起きてしまいました。何よりも、災害に遭われた方、特に人命を落とされた方々に比してお見舞い申し上げます。

ひとはでも裏側の用水路の堰が3ヶ所にわたって崩れ、崩壊を心配しましたが、幸いにも崩壊は免れました。地域の人たちと一緒に修復するだけでも大変でした。それを思うと、復旧に当たられる方々の心労は如何ばかりかと思えます。

どうか心身の健康には十分留意ください。

ササキ亭のレシピコーナー



暑い夏がやってきました。

きゅうりのからし漬けでごはんもペロリ。

材料

- きゅうり — 500g
- 粉からし — 10g
- 塩 — 25g
- 砂糖 — 85g

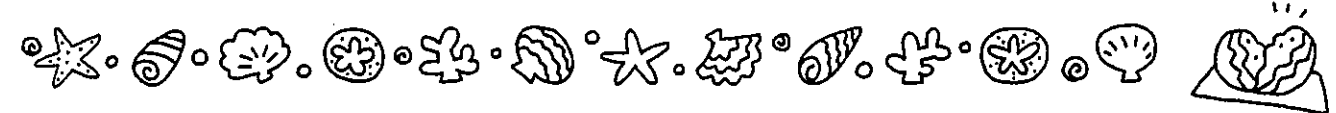
作り方

- ① きゅうりは洗って、両端のへたを切り落とします。
- ② ゼニール袋にAときゅうりを入れて結び、Aがきゅうりにからむようにもみもみします。
- ③ 冷蔵庫に入れて時々もみもみ。1～2日でできあがり。
- ④ 袋から出して、食べやすい大きさに切ります。

お盆休みの
おしらせ

ササキ亭
8/11(土祝)～8/16(木) お休みします

ひとは館
20(月)～22(水) お休みします (6(前)27(前)は営業)



接客業のプロ

ささき亭で仕事をしている氷附美江さん。週末には翌週のランチのメニューをスタッフに教えてくれます。さらに、ただメニューを言うだけでなく、イラストをスタッフに見せて料理の説明をしています。「高田さん、夜勤明けはお腹空くじゃろ〜?」と心配してくれる姿は、さすが接客業のプロフェッショナル!! 注文の取り方も上手です。

説明上手な美江さんなので、「お昼ごはんはいらん?」と聞かれると頼まずにはられません!! これからも美江さんの笑顔でどんどん注文を取っていただきね!! (共同ホームひとは 高田和美)

「アグリでの日々」

アグリサポートは、仲間16名 スタッフ5名 合わせて21名で、そのうち女性は私ひとりなのですが、日々いろいろな場面で皆さんから優しく助けてもらっています。先日何人かとアグリ畑で作業をしていた時に、ムツとすることを言われた私が口をとんがらかしていると、隣にいた高伏さんがそれに気づき、常川さんと顔を合わせて苦笑いしながら「女バはわからんね〜」 政本さんも「女バと秋の空って言うもんね〜」と私のとんがら口の真似をして笑わせてくれました。その後何かにつけて高伏さんと常川さんは口をとがらせて私をからかっては笑い合う日々がしばらく続くのでした。(就労センターあつが: 二宮由香理)

「手形」

夏らしいセマワリの飾りがひとはぼろこ内の壁を飾っています。セマワリは、子どもたち一人ひとりが作り、手形を取って作った葉っぱと一緒に飾りました。手形を取る時、筆で手のひらに絵の具を塗ったのですが、「くすぐたい!!」「つめたたい〜」「もっつけた」と不思議な感覚を面白がっていました。中には「色、取れる?」と心配そうに手を出る子もいました。出来上がった様々な大きさの手形に思わず手を重ねてみると、私と同じくらいの大ささでびくり。去年よりも大きくなった手形を見ながら、来年の手形に手を重ねるのが楽しみになりました。

(ひとはぼろこ 三村知美)

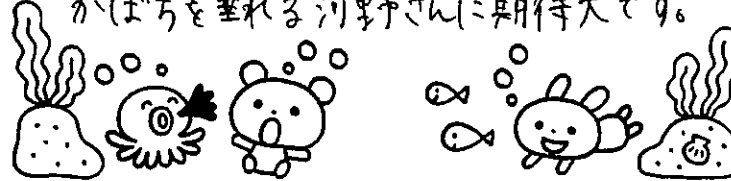
「やぐちのくつ、しばさんのくつ」

6月に行われた「ふれあい交流会」の帰りの車内。作業所所属の司馬さんの隣に座ると「おしっこに」と声をかけられた。抑陽をつけて「いきました」と返すと、何やら楽しそう。しばらく続けると、私の持っている袋を指さす。靴が入っていたので「やぐちのくつ」と返す。ニヤニヤ。今度は自分の靴入れを指す。「しばさんのくつ」何度も何度も繰り返す「やぐちのくつ、しばさんのくつ」は、まるで呪文の様。じつとやかには呪文。そんな呪文は、その後あつという間に打ち砕かれてしまうのだが... とても楽しいひと時であった。(相談支援事業所もやい 矢口詠依子)

「ひとは館の看板娘さん」

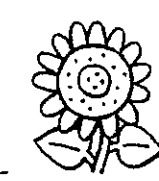
たかた産直市にあるひとは館2号店では、看板娘の坂井さん、井上智美さん、服部さんが曜日替わりの担当で、私と2人ペアでお店番をしています。覚えたことをどんどん実践しては、もっと仕事がしたい!とやる気に満ちている坂井さん。笑顔全開でお客様も笑顔に! 色々なことに挑戦して頑張る智美さん。お母さんの手作り弁当を楽しみに、マイペースに器用に仕事をこなす服部さん。おかげ様でこの夏4周年を迎えるひとは館2号店です。これからもお願いしましな。看板娘さん!! (ひとは工房ひとは館 岡部陽子)

河野大輔さん「かばちたれ」発行
河野大輔さんが自分誌「かばちたれ」を発行しました。ようやくというか、待ちに待った決断です。「かばち」とは最近取にしくたりました。か「文句を言う」という意味で使われています。河野さんが社会の時流に逆らって、自分の思いを堂々と発信することはいくらも限りです。社会や周囲に村度をして自分の意見を言わないで他人のふんどしで相撲をとるのでなく、堂々とかばちを垂れる河野さんに期待大です。



編集後記

今年もひと仕事ワリの時期がやってきた。おとしのひと仕事ワリに初めて来て下さった、豊栄のちんどん屋さん。会場を練り歩いた後、アオーディオ演奏の方が真近さんのリクエストにこたえて、故園の春を即興で演奏して下さいました。隣どし真近さんの大熱唱。アオーディオの音色と力強い歌声は心に残る印象に残りました。(竹内宏美)



第17回

ひとはまつり

～虹のかけ橋ひとはまつり～

平成30年

9/1(土)

16:00～20:00

※荒天時中止

会場：ひとは作業所前広場
(安芸高田市向原町長田 1857)

出演

ちんどん屋、志音、吉田神楽団
向原高校バンド&フラダンス
レイフラワーハッピー、JBローズ
など企画盛りだくさん！

飲食

焼そば、フランクフルト、カレーライス
からあげ、ビール、ジュースetc・・・
※飲酒運転をされないようお願いします。

出店

ヨーヨーつり、射的、もちつき、くじ引き
ボールすくい、スイーツストラップ



主催：第17回ひとはまつり実行委員会・自治会きらら
後援：長田下地域自治振興会、六風会、明神クラブ、ひとは福祉会
問い合わせ：社会福祉法人ひとは福祉会 ひとはまつり事務局

☎ 0826-46-2960